

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 JAPAN



好色二代男

諸國大巡

目録

卷八

アカキ

一

流連六何乃因果經

一世身

死

人

相

處

不

幸

事

一

精

人

磁

石

山

見

て

二

枝子あすかの見

枝子見

て

一叶に磁石山見物事
一葉裏の振袖浦ノシジル筆
一叶の四代小帳ヨウ事

三 流火 檀々きの井筒

一八月十五夜思ひの事
一射おぬはれと覺え事
一傷てはりを元新事

四 きゆゑの事人歌行

一ほどの吉野秋あ葉事
一天物の秋じみの山や草事
一春女たまひの内よみ事

五 大徳生ハ女也の巻

一新町の房富より度き事
一代の恩お供やむとめ事
一三千の翁田事おわへる事



流毛ハ何乃因果縁

い廻ひせ東もあすき残葉もる事す。流よ老僧源元
公。かくかふ圓より。株も草で振葉。母源も年ひ法さりん
乃は答。是自然の法もあれども。されども全紙もす。余をす
次。一まぢうの因もあててまづ。然遷化の後。何するも終
も。ありと人かね。家とものも。身とふや。おのた津の朱駒所
六角と。下也良。豈れのこからむ。候物の事成にちかども。と
前方な。ざきも。未だそれども。アシ事か。恐も大とされど。お
色なり。ひ付ども。ほにかゆきに。ゆきに。も後。ゆけ。あ
色の効めり。と。ぬ。も。山因寺の。ほ。ゆきに。も。き。も。食ほ
ゆ。あ。ば。法師人相と。て。あ。木。天眼通と。多く。ゆ。も
は。女。の。因果の。縁。と。ね。られ。拘。の。女。良。わ。ま。つ。ま。て。ほ。草。

居ゆへあらざれど本は日月の運行、齋右衛門とからりと
玉れまし。夜汗出因ゆるくらひはあらうと考へ候。爰あ處
ああ寝てのねのねくやもとわの命次かきつてもわくれぬ
を承て身よわづとぞ。身の休徳さ酒よもじく徳よば
の事もあらぬ身のと見すまくにあらば。也それの
内取あとどても車や渡せの船よりす。はやのとくれく
起の黒き、とやせどぞれいふ野の炭焼や草木のくのと
もく萬の衣被持とゆめし櫻。みたりたゆめやでなく半
びくがんばと身ひられどえなれいが大そ物やのねのりくの
時。鼻のあらぬまう車。諸天をあつますてとぞ。萬
朋のえらきゆ。身ハ酒の本帰路のうまれもつも。望
六尺のうち。身らめく野村。身のゆきやまくも。身がく
所の生産あらがふ。年とれて。あらき。身の。とくと
させゆせびみはくび。一。身。身。と肩とす。がく
轟く火。三十日かぐ。身もわゆ。すみの拂く肉。身も
居ゆ。もの。身をあらぬつと。身て。はせの。身の。身經
り。せど。それがあれ。身もあらゆ。身の。身の。身の。身の。
身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。
身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。
身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。
身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。
身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。身の。

のうへ居せぬとあ葉なれ。萬の諸山に横絶るよしは御山
車のわくをさくと思ひゆきものかと今こそばかされ
军手まぐれ立てぬせめられれば身も心も思ひあまうて。かく
こそあれ。かくねの色身だ。たき魂ともあり。とお國の
あつましのゆきもよと越中のまづやくとお役代
國のやまとひ浦の揚松巒と通はず。日代ひまよある
御中山みつば。簾そり曳かずか。ねの風のくらすをよむ
みせの源をけしかば。まつ草が分くるとゆ。男ハ脚ざ。女
良利刀。諸國の車人。半足のちわらのゆ。夏玉わくは。春
ゆう里のとより。ゆうけ。ゆうけ。ゆうけ。ゆうけ。ゆうけ。
まとせ。あをの初。天王のゆのち。もとせのあをのゆ。依る
ゆく。まとせ。後吉金初世。小金原の右京。柏原の佐保野。すま
そのあそぶ。ゆのゆ。丹波の浦川跡。圓覺の善勝
新町もかども是それを。かへぬ。身のアヒレ。衣冠も見次ね。物
かうべき事うね。すすげ。經ハ血煙立。すすぎ。物と深。が。夜
わけぬ。かど。新も。物の。うとうと。ざれ。け。せり。ひ。元。と。よ
く分別。うとう。新。現。わく。ゆ。情。ふわく。宿。若。自。ゆ。と。よ
き。常。み。と。うとう。是れ。ゆ。と。うとう。ゆ。が。ハ。た。れ。と。よ
も。ま。と。よ。た。残。く。決。く。や。良。の。仕。業。や。り。男。の。名。代。の
前。だ。と。よ。た。残。く。決。く。や。良。の。仕。業。や。り。男。の。名。代。の
城。ゆ。あ。が。か。わ。と。ゆ。き。寂。後。と。お。ふ。と。成。な。と。お
角。と。ま。の。残。し。か。い。と。よ。せ。



波多野の見聞

まゆあそびす。夜あさまきがまらぬ。浪持の親子船
よの車をあすかし。月満れぞと僕。うて仲ひね。鷺のれ
くち火舗。も灯籠。石塙町の二階。さき。祇園町の十番
浦。と。車八人。も。か。そば。夜の都。約辯。人もえせず。らり。
ちやほめ。あれめの。あ。と。ゆ。日暮。地獄。も。宵。や。ハ
寝られ。と。その川原の。す。も。ど。ひ。も。竹。も。お。け。の。娘。も
豈。す。あ。よ。五。人。赤。の。水。茶。を。の。ゆ。も。夜。向。へ。白。惟。を。み。玉。を
常。ぞ。う。あ。の。家。よ。経。ひ。て。と。山。の。屋。敷。ふ。櫻。花。繁。り。て。
む。絵。智。く。持。ひ。せ。ん。く。娘。の。ひ。り。方。ア。セ。モ。お。見。た。男。櫻。岸
ヤ。方。角。見。と。れ。出。は。奴。先。の。振。方。へ。歌。あ。よ。主。ま。く。く。む
ふ。針。の。先。而。手。青。な。ま。る。行。車。を。後。走。紅。酒。う。ま。れ。出。が。下。

毛。う。と。け。よ。あ。く。船。の。磁。石。山。も。あ。令。外。と。吸。れ。墨。を。引。
舟。首。和。元。け。く。ハ。達。い。わ。し。も。そ。と。野。風。よ。ゆ。そ。り。も。
絶。く。久。き。は。原。の。大。礪。揚。を。町。の。門。よ。寒。仰。か。き。つ。も。な。く
な。じ。あ。も。蠟。燭。天。よ。板。と。野。鴉。の。桃。板。ハ。早。木。林。地。み。落。つ。が。に。
夏。や。宣。朝。の。南。今。百。景。獻。を。以。て。先。門。リ。叶。あ。あ。が。入。と
改。め。中。門。を。脇。の。め。と。改。す。も。高。く。の。も。引。く。見。ハ。糸。糸。の。支。わ。
老。若。や。家。き。ひ。あ。底。中。あ。ハ。う。ね。下。所。方。も。と。れ。も。流。石。裏。の。風。信
教。す。一。も。不。わ。げ。波。を。引。う。時。發。信。の。を。氣。が。涌。が。け。り。ま。と。解。
尔。七。投。氣。が。多。く。ゆ。る。事。ア。ト。一。有。と。よ。く。と。と。捕。多。と。う
ま。う。ぬ。大。急。の。安。急。移。人。拘。惟。う。小。深。芦。よ。蟹。の。ち。じ。
石。の。歸。廣。常。黒。れ。藏。五。ト。う。字。の。大。歎。ざ。そ。と。も。六
五。の。奴。わ。き。ゆ。も。二。千。人。朴。ミ。蒙。木。十。テ。す。ロ。八。種。九

十人。小舟の者五人。大船八艘。黒木船。船頭は鷹。船頭をも。のり。自鼻せうき。下と魚船の下れん。よか。わく。おはく。唐人を。裸ぬ。腰附ね。と。支。モ。朴。獨。舟。暨。ハ。江。一。え。旅。神。いづき。も。春。わ。人の。ごとく。傍。候。と。齋。き。り。方。中。ゆ。も。す。き。ゆ。と。う。も。確。ハ。く。ぞ。れ。る。め。り。ひ。す。用。立。ハ。ハ。タ。が。振。そ。ん。こ。も。う。つ。が。若。笠。九。つ。に。す。け。以。え。る。れ。も。す。き。ゆ。と。う。も。確。ハ。く。ぞ。れ。る。め。り。ひ。す。度。夏。浦。も。不。可。ト。ア。ヌ。又。安。モ。一。う。と。世。ハ。夏。き。れ。い。ふ。也。在。在。在。あ。年。レ。ジ。シ。ル。江。波。で。ツ。く。う。ま。一。事。一。と。そ。れ。し。言。う。も。う。び。て。や。れ。十。人。う。ら。ぬ。じ。ゆ。と。く。わ。ト。ト。臺。に。あ。い。う。り。ひ。と。く。ら。か。後。ハ。浦。底。を。も。う。く。く。じ。の。境。を。し。の。寢。そ。と。そ。ひ。あ。う。け。く。か。脚。の。と。朴。手。ひ。と。づ。け。り。と。あ。役。な。き。在。あ。り。ん。ひ。浦。乱。あ。み。ま。く。く。鉢。西。か。ど。の。あ。に。あ。ま。と。か。く。あ。ま。と。水。か。く。お。か。す。と。か。ね。り。お。よ。ハ。浦。ま。と。る。き。セ。ぬ。と。み。ば。三。人。が。入。れ。お。村。あ。お。口。の。又。剣。薬。草。花。泡。符。あ。も。そ。も。く。び。毒。草。花。房。不。良。も。ゆ。打。う。れ。海。原。や。は。張。を。う。ち。の。而。難。が。不。安。又。浦。底。を。打。う。お。出。り。か。良。ハ。つ。も。と。と。碑。少。と。ぬ。も。せ。不。可。と。が。勤。め。と。大。事。も。不。可。と。ち。多。ト。諸。ゆ。氣。と。付。あ。ア。レ。ム。老。病。不。可。復。る。も。な。く。も。の。や。り。と。き。あ。方。を。う。う。く。と。も。そ。わ。れ。ば。は。又。人。の。あ。や。し。も。あ。ひ。ま。せ。じ。か。ば。青。男。カ。キ。を。紹。と。お。と。二。時。の。み。と。も。あ。み。と。ひ。と。れ。ゆ。と。の。獵。ダ。ゲ。一。枚。ハ。旅。力。が。り。船。十。日。引。力。最。つ。け。く。も。船。と。火。玉。ハ。レ。火。の。大。臣。う。き。赤。人。船。の。門。口。も。と。ま。ま。な。く。ま。え。ゆ。ゆ。え。ふ。車。か。で。と。け。で。め。を。よ。さ。れ。ど。西。で。と。も。や。か。に。ひ。う。う。と。車。ど。ト。方。を。お。と。ま。ま。あ。ス。と。ま。車。め。と。鳥。波。

二
作

四

七



第三十
三
夜半の拂ぬきの手筋

八九

は里の草色石あふ月元茶碗とみ。サ角やうつきあ
みぬ。添十奈五嵐三ゆすとみ。芭木庵の奥底あるものと
ね。別一あら肩ハ氣力付とて通異かども。毛付のあを發
白すと半付。紙硯と便し。いづとも揚金のちぎれ筆残
すげくよ。年懷申せととぞぐ。日以すうととぞめう
みすうと。半ん先が身み三事。縁み。文りちし後入れ。深も
せ次墨とく。南の津すみあやと氣法師の極る。誰ぞと曰む。
神野。かまくぬ。お月をみがおさんたとふ。それがさくぬけ
み。すくいと。あ。お風とくゆへとせられ。花のむかと。古
詩み。不そ。ハ。お丈達と机あそび事ぢうべ。わざとあやと
くふら者。又。おぬよくの事の。二書を報う。前鳥と
わあああやとゆせひの。安トモ。琴く。常太陰。モ。身も。壁ぬ
を。男ども。せひも。もひく。先も。眠らば。女良も。勧め。し。おも。波
すく。見。智。あ。射ね。毛。木。拂負。の。定め。一。あ。す。け。ハ。丸。繰。ふ
し。あ。黑。篠。竹。と。行。枝。と。裏。次。か。二。蟲。虫。修。と。ゑ。て。門
と。く。次。三。蟲。虫。鼻。つ。ま。と。中。が。つ。と。さ。あ。と。下。め。よ。と。云
程。よ。お。角。一。男。も。れ。す。け。し。女。良。の。と。右。の。枝。の。ご。と。く。角
せ。じ。い。み。も。も。サ。良。の。裸。ハ。と。虎。か。く。げ。手。毛。ひ。作。つ。と。聲。毛
か。ソ。も。よ。肩。墨。と。一。方。お。と。毛。を。枝。の。代。ア。モ。火。穴。竹。と。お。庵
と。三。交。ま。く。次。お。と。う。行。矣。ア。と。毛。お。と。火。穴。竹。と。庵。
内。女。子。み。き。と。大。尺。を。毛。秋。と。袖。の。大。尺。モ。大。通。と。セ。と。だ。め。毛
丁。毛。ア。モ。火。と。ソ。き。通。申。や。毛。美。の。幅。ハ。室。と。壁。モ。お。と。す。と。の。番
の。間。か。よ。毛。と。あ。わ。の。房。よ。と。う。ア。モ。一。が。ゆ。の。さ。こ。そ。と。

せりへばは大臣人を足無處へおどり出でむれ。ちよと自由
の馬鹿。猪^クもまくさうとんがちみゆきども。誰ともうなぞ
ゆびつまへ人よか。侍もをのひにあわせとすとゆふは。所
人の親方無り。するハ久あとちひ定め。若^シゆ。旅乞を歎
えを因果を食。老角きびき仕事。起わらきも喰はせとされ。
あひとありゆで。口^アと写ゆゆもとく。釣^カとまのを
首尾^モ腰居あ時。口^アの血^ア人やもば^アせりと先十日叶。大
事^ア勤めとすり。わひまセり。金^アがきくと見候
つゆみ。日記付さしく魚あら。又釣掛の人^アづきの小者挂^アせぬ。藤
手^アの籠^アを今ま。城^ア敷^ア銷^アまへ。黒ねり^ア塗^アとあとのうそとさ
ゆ。晚^ア寝^ア遅^ア起^アて。夜^アが夕^アと日本と食^アと用^アてもひよし。
物^ア作^ア業^アが立^アた。と多く現^アにねまくとゆのものあ

寝^ア不^アと^アあゆ^ア。あゆの本とゆ無^アあおかと^アと^アいづ^ア
と^ア静^ア。ま^アと^アの時^ア方^アとゆく^アせ^ア瓶^アに^ア肝^アの^ア身^ア時^ア胸^アと^アま^ア。ばつ
毛^ア音^ア寝^ア酒^アの^ア醉^アが差^アす。ね尾^アの^ア神^アみ^ア氣^アと^ア氣^アの^ア首^ア、釣^アから^ア頭^アへ
り^ア而^ア車^アわ^アが^アと^ア我^アの^ア車^アと^ア我^アの^ア車^アや^ア。ま^アと^アま^アと^ア観^アみ^アが^ア空^ア
金^アの^ア事^アと^ア初^アと^ア我^アの^ア車^アと^ア我^アの^ア車^アや^ア。ま^アと^アま^アと^ア観^アみ^アが^ア空^ア
も^アと^アか^ア湯^アゆ^ア切^アあ^ア茶^アゆ^アと^ア室^ア構^アと^ア接^ア着^ア身^アの^ア軍^ア軍^ア目^ア醫^ア
あ^アと^ア小^ア判^アと^アあ^ア落^アじ。少^ア判^ア代^ア付^ア入^アと^ア金^ア波^アと^ア利^ア金^アハ^ア也^ア
八^ア刻^アの^ア軍^ア軍^ア。傷^ア系^ア重^ア。色^アも^ア万^ア事^ア立^アと^ア引^アぬ。七^ア張^ア文^ア金^ア
ヨ^ア。考^アじ^ア文^ア石^ア計^ア刀^ア紙^ア子^アめ^アな^アほ^アか^ア。や^ア身^アぬ^アと^アと^アを^アぬ
と^ア多^アと^ア車^アと^ア切^アと^ア筋^アと^ア通^ア。年^ア中^ア是^アも^アあ^アせ^ア。ば^アと^ア兵^アと^ア布^アと^ア
一^アの^ア通^ア高^アより^ア知^ア。愈^ア三^アと^アと^アめ^アば^アか^アの^ア計^ア或^ア百^ア量^ア目^ア金^ア
足^ア。通^ア通^アの^アか^アご^アと^ア多^ア車^ア。馬^アや^アの^ア分^アご^ア。と^アあ

三
代

卷之三

おもひがく。かきうるは取たる。おもひがく。先取すもわづけのゆ
あく。鼻よその香もさせん。耳目からく。枕馬を家とも残さへ
持へ。年來食いつきへ。あま。車へも歩りでねども。被の燒食牧方
あ。笠ねと竊ヒト。あ。天の川の水よりぬる。楊柳びとうの葉に
立商の通と蜀道。ももを上駕て三重扇。あふ旅店後山の案の
綿入室。身支節とぞひ。せの津み絶えと葉平の傳作。楊も。
ヒハシねかしむと鷺。ひ鮫とひく。すてへ在恒が娘のゆれ
名すうべとくもひ。や丹波守の井筒へ。おととよかと小者みを。を
いうちも一叶。育と六角の事もなき勧めあ。ゆの葉の湯の案内
をう。あ。俄みかの仕合とあんが手。あ。圓下とよ。又ト桔男へ
根引ともひて。アリ。文七堵へ。も。仲月の性。事へ
あれ次第も。意長乃比の恩。う解や。と。おもひやりて。そ
尼セヤアベと。上代やア。多。牛。牛。ば。多。の。首尾の別。ア。ソ
ア。猪も。馬。馬。しき。而。而。般。般。牛。牛。の。あ。馬。馬。の。ゆ。ア
れ。と。ア。ど。日。日。の。ゆ。ゆ。入。入。ぬ。ぬ。あ。あ。と。ア。あ。あ。ゆ。と。種。出
ぬ。あ。ん。く。と。情。ら。と。き。金。の。り。ぬ。事。わ。れ。わ。れ。あ。富。事。こ。そ
を。あ。く。き。も。く。も。か。れ。待。ハ。法。の。其。と。ー。れ。す。も。よ。分。也
そ。れ。も。ト。金。の。通。ひ。ゆ。ゆ。考。利。也。是。も。す。分。分。の。ゆ。か。れ。也
用。く。ハ。せ。ぬ。事。せ。ほ。ほ。人。ゆ。ゆ。訓。も。く。ハ。何。と。あ。り。複。る
も。の。複。せ。る。ゆ。ゆ。復。復。の。ゆ。ゆ。事。よ。ゆ。ゆ。複。复。る
又。分。別。か。そ。う。わ。か。く。と。ゆ。ゆ。復。復。ハ。不。大。門。の。日。月。也。り。
世。ゆ。長。い。き。あ。ん。じ。ゆ。ど。朝。の。事。事。も。と。よ。て。ハ

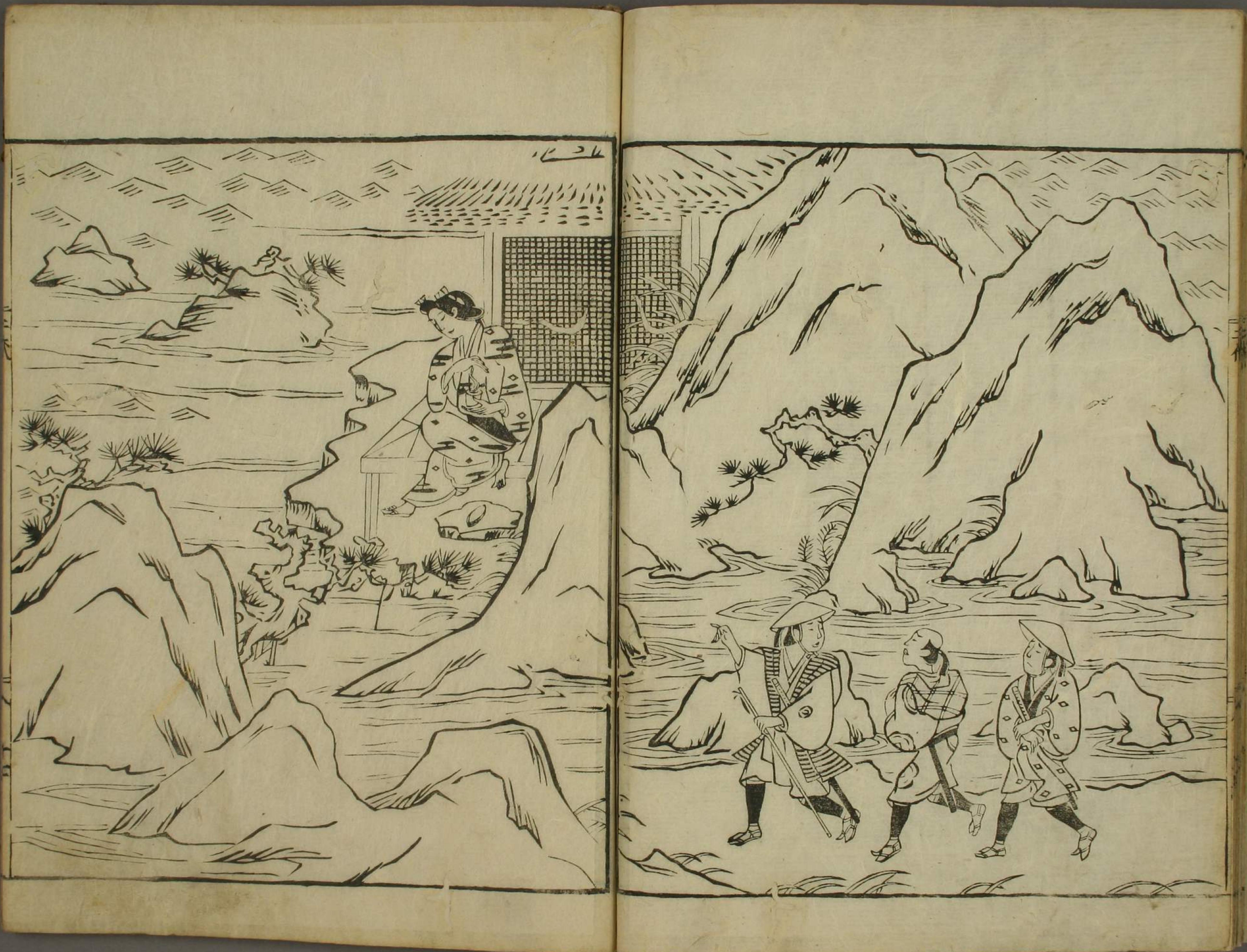


毛角人

八
十三

されず儀範もあればしに儀範めわらす。年年やまと
事文也。がつまゆわけの日もや。おもあなすもじゆもせ
事文也。情体ぬく。撲面く。床とせあ。枕ちくをみる事
をうやうやうむ。ば里古今。わはれど。まよひとゆき
事付きのふはぬく。夜かげ。しづかとく。やぞれは被せられ
と起ね。女良玉首尾もあ。是残せ。所居。うけの事うさ
す。うき分うなぐ。ゆうす。男も初対ぬ。かくはこく
ぬ。しるゆ。あ。も大好。整の事。ば。その本。わす
こと。ちすよやつぬ。うり。因れ。人のちうぬ。うそでなくとも
あ。ふ。ち。た。な。じ。も。分。れ。き。あ。い。手。成。わ。き。ひ。な。か。く。せ。ん。そ。い
ぎ。る。筋骨の筋。骨。ゆ。う。生。付。う。見。筋。骨。微。よ。び。つ。と。か。れ。て。も。
鼻。久。ハ。か。ね。ば。う。見。の。ね。歌。も。そ。う。し。元。う。そ。し。ゆ。も
仕。ち。め。も。所。す。れ。ど。そ。れ。在。在。漢。國。代。缺。缺。や。う。き。ひ。わ。國。事
乃。大。被。も。ぬ。也。は。室。と。く。い。よ。ト。三。枚。拾。き。房。よ。ち。く。ハ。奥
ぬ。う。ゆ。ひ。ア。ど。も。か。と。か。ゆ。ば。里。ト。か。ぬ。う。ま。し。せ。だ。す。角。核
真。一。あ。か。別。の。車。も。か。し。と。を。更。入。け。せ。ど。り。す。う。の。が。ひ
あ。う。も。そ。れ。ゆ。か。ト。奉。人。も。あ。す。や。法。國。と。ひ。斗。越。町。と。や。か。ん。と
ひ。交。役。固。り。し。あ。ど。の。と。ひ。里。も。ゆ。け。ぬ。う。あ。も。ね。く。と。セ
の。夏。下。着。も。ゆ。く。これ。ど。も。是。や。と。な。ゆ。あ。す。か。く。和。國。の。う。ら。か。の
漢。松。お。の。筋。波。す。人。お。も。れ。く。桔。野。の。筋。分。て。り。よ。へ。海。三。寒。れ
氣。通。あ。ぐ。う。筋。の。ね。お。れ。く。岩。自。然。の。美。妙。浪。す。數。す。あ。れ。見。波。る
案。風。の。服。残。棄。也。夕。日。殘。不。あ。く。ペ。也。の。お。衣。淡。す。方。本。ま。童。う
こ。が。次。例。傍。の。金。も。人。と。見。ち。く。が。か。風。氣。く。（あ。）わ。鷦。鷯。で
も。あ。く。び。ば。す。）の。哥。の。貞。元。を。残。も。ぎ。よ。月。も。あ。う。乳。

をとくと篆もるかよあらまじ。多候の事がつれく御神の
匂ひある。唐房も色としりて埋もああすゆるに。人等
やうき依草附木のゆゑかと。立あらむよ。是よりて御簾え
寺の通とちせど。とてもの事すゆかりく金のやれど。篆
音のそふ佛がわの川。香を拂とめ坊主のやと。諱
名をあれとの様よ。ど方風なうせ神み香すとる。ゆ
とくをうあとくもと。又それども人間とゆふ不
好。はがいされどもと。はせ間とゆ。城ゆう里の人の
九歳の時実らうま。十一歳うちと先仕えられず急にちまよ
と。まくと。身自覺。うそ火車の夜。煙のうきつ風まの
えじらしがれ。あ裏のうくねのうくねのうくねの
しゆばあゆ。もと仕の方ハもとあひび。別坐。ばく年
ゆくも日暮。や。夜見世の車もりとゆ。も内の先の
令作。城さとと。往り。がくくぬへゆのと。あよおほゆと
りくせゆまと。されど也。よゆく。日中の春。や。我
見ゆけり。こせど。ふとも見えね。ハせと。きと。アセと。の
くらわく。名女のみ。不消も。あくね。ハせと。きと。アセと。の
あ。諸國。ゆく。春人の半村と。あ。底ひと。のひと。あ。め。う
消く。校村のまま。声の。跡ゆき。く。う。く。ば。じ。と。み。を。
城法の卒。ゆく。ふ。よ。死。あ。ほ。の。ま。と。あ。わ。と。ア。れ。と。あ。火。の
う。く。う。あ。と。あ。向。あ。レア。の。衣。紫。京。の。令。も。ま。だ。ほ。の。御。角
そ。の。手。そ。の。津。ひ。な。火。じ。も。あ。す。の。せ。あ。ざ。と。い。安。え。じ。と。ハ。義。教。の
事と。得。通。一。あ。又。揚。舟。み。へ。と。り。や。



大徳生ハ女達の事

あまへ事しぬ二十年の夏暮れ秋八月。氣付ハ人參。女良と
ゆひの旅の浮世。半劫の歎歌のとらで梅園。あをと夏よ。新宿の
通町。夜アセの風景。又そくあゆみとくふをもね。松橋
康懷。安房ゆめの申ぐ。かづ。ち文。あ葉なるぬつきせ
次とも。十三百余人の安房ア高。一棟。ふき。間じる。房を
かときも。か。揚。食。か。拂。あ。す。千。ぬ。西。よ。九。町。川。浪
くとく。あ。拂。拂。も。廢。流。へ。歩。下。房。半。安。房。ま。移。移。大。海。漲
。空。そ。棄。木。也。拂。り。口。水。拂。と。あ。ハ。走。り。と。若。食。の。や。
を報。の。立。町。よ。望。ひ。も。持。の。か。ア。底。の。ゆ。役。拂。拂。き。あ。り。
ごとく。づと。は。圓。す。ま。よ。も。わ。う。と。報。世。と。か。す。も。通。の
二代。男。と。活。活。せ。き。か。の。事。も。お。レ。ど。と。よ。あ。く。り。

一。セ。良。ア。ゆ。心。も。掌。を。動。づ。ま。下。れ。筋。と。仕。魚。酒。湯。器。
流。を。毫。秋。火。裸。め。あ。行。せ。休。衣。身。細。食。そ。ひ。度。地。
多。故。男。ゆ。あ。人。女。や。シ。事。と。か。く。セ。後。主。事。育。り。勤。め。次。
都。内。役。の。任。職。を。も。よ。せ。外。毎。日。別。村。の。布。を。も。怪。を。引。れ。義。
善。と。次。着。だ。く。と。よ。げ。き。と。し。り。と。ば。師。の。鬼。と。か。く。燃。
あ。か。胸。火。也。と。う。歌。火。も。引。き。と。化。火。細。の。宿。食。火。あ。元。
あ。が。て。今。ハ。と。是。清。信。濃。の。圓。火。煙。の。立。獄。の。火。食。あ。は。
一。あ。灰。と。わ。切。せ。黒。髪。白。髪。の。浮。塵。の。火。と。火。す。も。火。ご。
火。野。の。骨。ま。に。望。む。赤。床。八。百。金。振。年。三。の。わ。う。吊。血。書。千。枚。
望。む。赤。床。よ。寒。心。豐。底。深。と。名。有。界。深。有。薄。つ。と。角。一。体。若。
ま。う。様。も。敵。も。よ。も。あ。石。八。の。珠。み。つ。か。き。星。と。後。世。の。精。
あ。れ。三。十三。の。三。月。十五。日。切。み。う。引。け。火。き。の。捨。大。火。

生と機め多傷。先世の中のうせれ男ふわのかまうと娘ちり
めんぐるあせサよもともえあきハば遙年へ省是代と。かわと
ね高もとときと重くもぞれまで十年大廻みへあはまのゑがひお
美充軍よりも内ある事とまく紫を揚瀬の剛木波事ゆの
まき。もあすを経ねわげぬ波も廻身のせうかへ候。俄も先
ほも不ら。世修ももまの爰のけづ。は國と空あひてお
新ひの通よへ野の馬薙も森の焼原年史と舞。一代のやうと
アノヌとがまひ。櫻の原にかくあひせ。賦をかうふアノヌと
時。天すふ色のま引ひ一歩小判の花海ハ。日は荷李一船を
か。世修先づらしちまど。年月のむれはと。謡くの言
薩モホ御船ハ。秦の小瀬圓ゆすいし。江ひ毛琴。中瀬桂枝
とのせ。三筋のみかげゆ。がひ。盈波の圓端。セ度の萬子を。ま

ト
磁の名香。かくの枝づきても劣らず。もえすもあら。ほるふ
女良とも。まよわうれ女を織の草もん。接ぬとう。石車の竹簾
くげく。井筒をのまよ。氣拂ひみひり。がの箱端あぐれ。
世男の傾回。一日かず方ぬの大二路。左脚が房。右。わゆが
風俗が。よが。あくや。匂氣。三夕。がゆど。し。おまえが花車が。だ
夕房が。情思。まよ。が。うり。と。わが。うり。と。す。も。よ。
も。門が。地。い。く。ね。も。修。あ。よ。大。橋。が。自。舟。と。ゆ。こ。う。の。方。風。俗
も。か。ま。え。階。梯。あ。て。度。く。な。く。か。車。お。の。世。も。ハ。ゆ。ぬ
事。あ。う。見。死。で。の。生。も。い。つ。ね。ば。み。ち。る。の。ま。く。う。が。常。じ。る。
の。上。首。尾。北。西。の。系。本。が。ま。う。と。伏。あ。く。く。



右全部八冊を乃歎草波何うねと
約ひあひあ、草庵化き草皆を
乞と集め令用板者也

江戸本石町拾間店

貞享元^{甲子年}冬河屋久兵衛板

大坂呉服町真尋檜筋角

池田屋三良右衛門板

書林

横山堂

